

令和7年度第2回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和8年2月19日（木）午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所 小牧市中央図書館 2階 ボランティア活動室

3 出席委員 委員長 佐野 吾朗
副委員長 白木 泰子
委員 加藤 亜衣
" 落合 小百合
" 森川 智之
" 野地 優香里

事務局 坪井館長
花里係長
宮崎
寺西

傍聴者 0名

4 議題 (1) 選書について
(2) 雑誌の休廃刊及び新規購入について
(3) その他

5 会議資料 次第 選書資料（資料1・資料2） 雑誌資料（資料3・資料4）

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『中世伊勢神宮の形成と地域社会』について

結論：可

【佐野委員長】 不可

この本は迷いましたが、不可としました。地元、東海地方のものなので置いてもいいと思った反面、中を見ると資料がなく文字が大変多くてとっつきにくいということと、まえがきに前著『中世伊勢神宮成立史の研究』の続編にあたると記載があり、そもそも前著が図書館には無いということで、不可にしました。

【加藤委員】 可

私は悩んで可にしました。確かに文章が多くてとっつきにくいとは思いましたが、章ごとに出典が細かく記載されていて、歴史や文学史で見ると『吾妻鏡』や『御堂関白記』など、読み切ることのできない量の資料をもとに書かれた文章であるため、それらを個々に見るよりはこの一冊を見れば良いと思いました。また、読んだページが神話と史実の境の話をしており、きちんと読んだら面白いと思いました。

【落合委員】 可

私も可にしました。伊勢神宮は身近であるため面白いと思いました。また、出版年が2025年だったため新しい情報も記載されていると思い可にしました。

【森川委員】 可

私も可です。宗教的な観点からの伊勢神宮の研究は色々あると思いますが、それだけでなく地域社会との関わりというところが社会学系の学生にも興味深く感じてもらえると思いました。また、値段が高いから学生には買えないと思い、可にしました。

【野地委員】 可

私も可にしました。皆さん同様、伊勢神宮はわりとこの地域にも根差している点と、他の参考資料を見ても地域社会まで網羅できている本はないという点から、可にしました。

【白木副委員長】 可

私も可にしました。有名な伊勢神宮の歴史などが、ひとつひとつ丁寧に説明されているので一生懸命勉強する人にはわかりやすいと思いました。私には理解に時間がかかるかもしれませんが、とても必要な資料だと思いました。

【佐野委員長】

それでは可の方が多いため、購入可とします。

選書資料2 『ガンダーラの歴史とコイン』について

結論：可

【加藤委員】可

私は可にしました。資料も写真も多くてとても興味深かったです。博物館にこういう特別展があると、最後の物販コーナーにおいてあるが、手に取ったら高く買えないような本という印象です。仏教美術という漠然とした中の、特にコインに主題を絞っている点がとても興味深かったです。

【落合委員】可

私も可にしました。「ガンダーラ」という言葉は歌で知っている程度でしたが、コインに国王や神の像が表現されているところにすごく興味を惹かれました。あと国の歴史や仏教美術ですね。単純に読んでみたいと思いました。

【森川委員】可

私も可です。ガンダーラそのものやコインに対して関心がある人はそれなりに多い、関心がある人にとっては面白いと思いました。可は可ですが、すでに所蔵している本と比べて特色がある本なのかはわかりませんでした。もし他の蔵書と比べ突出する点があるのなら、もう少し強力な可にしたいと思います。

【野地委員】可

私も可にしました。ガンダーラという地域やシルクロードという言葉は、ある一定の年齢の人からみたら興味がある言葉だと思いました。その中でもコインに着目をしながら歴史を深めていくという視点が面白いと思いました。

【白木副委員長】

私も可です。皆さんがおっしゃったように、歴史とコインを一緒に説明していて興味深いと思いました。コインもアクセサリーにしたいくらい美しくかわいくて、見て楽しむ意味でも面白い本だと思いました。

【佐野委員長】可

私も可にしました。皆さんおっしゃるとおり、コインからガンダーラを解いていくことがとても特徴的だなということと、写真資料も鮮明であること、ガンダーラに関する書物は図書館にたくさんあり人気があると読み取れる中で、アプローチの仕方が独特ということで可にしました。

【佐野委員長】

全員一致で購入可とします。

選書資料3 『旧版地形図類の基礎的研究』について

結論：不可

【落合委員】不可

少し興味は湧きますが、細かすぎてみるのが大変ということと、価格がすごく高いということで不可にしました。

【森川委員】可

一応可です。必要な人、特に歴史学を専攻する人もそうですし、地図の研究をする社会学系の人には良い資料で、私も学生の時に欲しかったです。そういう人はどれくらいいるのかというところは疑問で、利用度はそれほど高くないとは思いますが、値段も高く個人で買うのは難しいとなると図書館に欲しいと思い可にしました。

【野地委員】不可

私は悩みましたが不可にしました。変化していく中で過去の知見や地図の大切さはすごくわかります。ただ、参考資料では2025年に購入されているものもたくさんある。それがどこまで網羅されているかはわかりませんが、手に取る確率などを考えたときに低かったので不可にしました。

【白木副委員長】不可

私も不可です。さっき森川委員がおっしゃったように確かに専門的な人にとってはすばらしい書物だとは思いますが、専門的な方のみのため、という感じがします。値段も高いので不可にしました。

【佐野委員長】 不可

私も不可にしました。とても読み手を選ぶ資料だということ、せつかく地図の本であるのに載せられている地図が不鮮明で読みにくい、物足りないと感じたことから不可としました。

【加藤委員】 可

悩みましたが可にしました。まずパラパラめくったときに良い紙だと思いました。地図も資料もたくさん印刷されていた。私も学校で地図や資料を印刷することがありますが、すごく難しいです。テストのときに地図を載せたくてもなかなか鮮明に出来ないけれど、この資料からは作り手の苦悩を垣間見ることができる。地図や資料をこのように印刷して裏が透けないようにすると、値段も張るだろうと思いを馳せました。

【白木副委員長】

着眼点がすごい。そういう風に見ることもできるのですね。

【佐野委員長】

6人いるとそれぞれの視点を知ることができて興味深いですね。

【佐野委員長】

今のままで2対4で不可となりますが、他の方のご意見を聞いて変えようという方はいますか。(一同発言なし) それでは3番の本につきましては多数決で不可といたします。

選書資料4 『フィボナッチ数・リュカ数大鑑 上下』について

結論：可

【森川委員】 不可

どういう方が読むのかが全く判断ができない、中身がわからないため、この分野がよくわかる方の判断に従おうと思います。可か不可かと言われると不可です。

【野地委員】 可

私は数式がとても苦手ですが、中を開いてみると、例えば向日葵の種の図形がここか

ら引き出せるとか、なんとなく興味を引く内容で、学校の数学の授業とはまた離れた視点で楽しめるような本だと思いました。他にもパズルが好きな方がいるとしたら可でも良いと思いました。

【白木副委員長】 不可→可

私は不可です。まず私自身理系が弱いので、興味が湧かず、もちろん面白いと感じる方がたくさんいとは思いますが利用度がどれほどになるか予想が付きません。選書資料3『旧版地形図類の基礎的研究』と同様、利用度を考えれば一部の方だけかもしれないと感じたため私は不可です。

【佐野委員長】 可

タイトルと表紙だけ見ると不可なのですが、読むと意外に平易な言葉があり、とっつきやすいと感じました。高校生くらいで数学が好きな子だったら読みこなせるし、ひよっとしたら中学校でも数学好きの子だったら興味を持って本を手にとるのではないかと思います。下巻にいくとかなり訳が分からないのですが、書き始めがとっても平易で良いと思い私は可にしました。

【加藤委員】 可

私も悩んで可にしました。数式など、すでに証明されたことは不変であると思いましたが、そこに別証明を加えるというようなことが書いてあり興味深く思いました。また、佐野委員長がおっしゃったように本校にも数学好きの子は実際にいて、その子だったら面白いと思ってくれるだろうと思いました。あとは、蔵書をみると2022年の出版が一番新しく、ここ2~3年新しい資料がないと感じましたので可にしました。

【落合委員】 可

私も悩んで可にしました。私はフィボナッチという文字すら初めてでまったくわかりませんが、専門の方が見れば興味深いと思いました。また、貸出履歴を見てもけっこう借りられていると思い可にしました。

【佐野委員長】

今のところ4対2で可が多いですが、他の方の意見を聞いて変更される方はいますか。

【白木副委員長】

自分だけの視点で見ると「えっ」と思うような内容ですが、ご意見を伺っているとなるほどと感じます。そんな素晴らしい未来の少年がいるのなら、図書館にあった方が良いでしょうと思いますので可に変更いたします。

【佐野委員長】

では白木委員が可に変更されたことにより、5対1で購入可とします。

選書資料5 『言語行動論考』について

結論：可

【野地委員】可

私は可にしました。選書資料のなかで一番手に取りやすい、わかりやすいと思いました。読みやすいのもありますけれども、昨今のコミュニケーション問題やそこから派生する心理的な部分も少し見え隠れしたような部分もあります。タイトルからするととっつきにくいのかとも思いましたが、逆に参考文献を見ると少し学術的な要素もあって良いと思いました。

【白木副委員長】可

同じく私も可です。最近日本語を軽視するというか、敬語の使い方とか日本語がきちんと出来ていない人が大人にもいると思います。恥ずかしくなるような表現が多く見られるので、世情をちゃんと踏まえた上でこういう本を所蔵することは大切だと思います。

【佐野委員長】可

私も可にしました。野地委員がおっしゃったとおりタイトルと表紙だけ見るととても難しそうな本ですが、開いてみると事例が平易で言語学の入門書としても十分役立つと思います。

【加藤委員】可

私も可にしました。言葉はやはり時代とともに移り変わる生き物だと思っているので、時代による変化やその記録はなかなか興味深いと思いました。特に興味を持った項目は「職場での敬語」の章でした。もう少し装丁がポップな見た目でもよいという気はしま

したが、可にしました。

【落合委員】可

私も可にしました。言語行動は身近なことなので面白そうということと、私は関西人なのですが、「谷崎潤一郎のみた関西人」という項目に興味を湧きました。

【森川委員】可

私も可です。個人的にとっても興味深い本でした。言語を使って考えるという点でどの学生にも一度この本を読んでみよと言いたくなります。特に文学系、社会学系の学生たちには有益だと思ったので可としました。

【佐野委員長】

こちらは全員一致で可とします。

選書資料6 『杜甫詩論考』について

結論：可

【白木副委員長】可

私は可にいたしました。杜甫にまつわる本は多いのですが、私自身がシンプルに興味を持ちました。私のように読みたいと思う人が絶対にいると思うのでこれは可です。

【佐野委員長】可

私もこれは可にしました。今日の本の中で一番借りて読みたいです。単なる詩の説明だけではなくて、新作か既作かの考察というとても面白い論点からも記述があった。あとはマイナーな詩だけではなく、けっこうメジャーなものも取り上げながら説明をしているので面白いと思いました。

【加藤委員】可

私も可にしました。表紙を見たときに「これだ」と思った。裏を見て「え、新作？」みたいに惹かれる文言もありました。まず読みたいと思う装丁だったことと、杜甫の詩は中学校の国語の教科書にも載っており、間口が広そうだという印象です。

【落合委員】可

私も可にしました。私も裏側の「新作か既作か、本人のものなのか他の詩人のところから誤って入り込んだのか実情を考察」というところにすごく興味があったので可にしました。

【森川委員】可

私も可にしました。皆さんと同様、文学の面から見ても歴史的な面から見てもこれはなかなか興味深いと思いました。

【野地委員】可

私も可にしました。皆さんがおっしゃっているように、ただ詩の解釈だけではなくてその真偽も取り上げているところが面白いと思いました。

【佐野委員長】

こちらについても全員一致で購入可とします。

選書資料7 『江戸時代初期出版年表 天正19年～明暦4年』について

結論：不可

【佐野委員長】不可

私は不可としました。年表だけだということと、「はじめに」のところで编者自身によってまだ間違いもありますよ、中途段階ですよということが書かれているので、じゃあいいかなと思ひ不可にしました。

【加藤委員】不可

私も悩んで不可にしました。写真資料が最初の数ページのみで、これがもっと多かつたら、「お！」となるのに、また、『江戸時代初期出版年表』なので中期、後期も今後出版される可能性があるにもかかわらず一冊でこの価格なのかと思いました。ただ、読み物ではなく資料的価値があるというのはこういうもののことを言うのかもしれないと判断に迷いました。

【落合委員】 不可

私も年表だけだとあまり利用度が高くないという点と、表紙の素材が薄い点が気になったので不可にしました。

【森川委員】 可

私は歴史を専攻しており、この資料は歴史を研究している者にとっては良い資料だと思います。ただ江戸時代初期だけに限って所蔵すべきかと問われればどうとは思いますが、全部そろってればそれはそれは良い資料だろうという気持ちで可です。

【野地委員】 不可

私も不可にしました。膨大な資料で、必要な人には価値のあるものだと思いますが、年表ということでなかなか活用率としてはどのくらい見込めるのかと思いました。

【白木副委員長】 不可

最初の作者の感想は興味深かったですが、読み進めていくうちに全体的に年表だけだということと、全巻あればいいんですがこれだけだと江戸時代の一部しかないという気がするので不可にしました。単なる年表という印象が強かったです。

【佐野委員長】

ではこちらにつきましては、不可が5で購入不可とします。確認ですが、7冊あるうちの1番、2番、4番、5番、6番が購入可、3番と7番については購入不可ということで我々の意見とさせていただきます。

(2) 雑誌の休廃刊及び新規購入について

【白木副委員長】

資料3「令和7年度休刊・廃刊又は受入休止雑誌一覧」にある『週刊ダイヤモンド』はメジャーで、けっこう読者がいる。これを定期購読のみで受入休止するとはどういう意味ですか。

【事務局】

はい。これから出版の形態が定期購読のみ（書店を通じた一般販売を終了し、前払い

の定期購読（年間契約）を前提とした販売へ完全移行）になってしまったので、小牧市立図書館として受け入れが出来なくなってしまったため休止となっております。

【白木副委員長】

わかりました。あと『装苑』もファッション雑誌で昔からあるものですね。

【事務局】

はい、刊行頻度が下がってしまったため、受入休止となっております。

【佐野委員長】

資料4の20『テルミ；手で見える学習絵本』はとても良いなと思います。

【白木副委員長】

いいですね。『月刊むし』について、好きな方はいいけれど、虫をしみじみ見るのは少し気持ち悪いですね。リアルですね。

【佐野委員長】

でもすごい専門書ですね。

【白木副委員長】

好きな方は好きですね。タイトルがかわいいですね。

【野地委員】

子どもには好きな子が多いですね。受入中止する雑誌と新規購入開始する雑誌とでジャンルが変わってきている理由は何ですか。

【事務局】

出来るだけ受入中止雑誌に似たジャンルの雑誌を探して候補に入れるように尽力していますが、すでに当館で所蔵している雑誌が多く、同様の内容が見つからなかったものについては、別のジャンルとなっております。

【事務局】

他にご意見はよろしかったですか。それでは、このリストに沿って新規購入する雑誌を選定していくことに異議はございませんでしょうか。

【委員一同】

はい。

【事務局】

では、このリストに沿って新規雑誌を購入していきたいと思います。雑誌については以上になります。

(3) その他

【佐野委員長】

連絡事項、報告事項等がありますか。

ないようですので、事務局へお返しします。

【事務局】

長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございました。